

# 私たちの1日に潜む危険

## 1. 本時の目標

自分の行動パターンを分析し、生活の中にどのような危険があるか自ら探し出し、それらの危険に備える心構えをもつことができる。

## 2. 準備する物

防災ガイド、ワークシート。

(教師用サイトでダウンロードできます。)

## 3. 本時の流れ

平日はほとんど学校にいることから地震発生時、学校に潜む危険は何か考える。

↓

各学校で定めている登下校時の避難の方法を確認する。

↓

休日にはどんな危険が潜んでいるか考える。

↓

今日の学習で気づいたこと、学んだことを書く。

	学習活動	指導内容および指導上の注意点
導入	<p>①平日の過ごし方をワークシート1に記入する。</p> <p>②本時のねらいを理解する。</p>	<p>ワークシートを配布する。 平日はほとんど学校にいることに気づくよう導く。</p> <p>本時のねらいを提示する。</p>
	<p>生活の中にどのような危険があるか把握し、危険に備える心構えをもとう。</p>	
展開	<p>③ワークシート2に記入する。 よく使う教室に潜んでいる危険と対処法を考える。</p> <p>④学校で決められている登下校時の避難方法を確認する。 防災ガイド p.9「登下校中に地震が起こったら」の空欄に注意が必要な場所を記入する。 【個人】</p> <p>⑤ワークシート3を記入する。 休日、よく行く場所に潜んでいる危険と対処法を考える。</p>	<p>グループごとに考える教室を割り振るか、個人個人が考える教室を選び、危険と対処法をワークシートに記入する。</p> <p>学校で対処法が決まっている場合は、生徒が自ら考えた後に補足で説明する。</p> <p>学校で決められている登下校時の避難行動を説明する。 避難行動のポイントを板書し、生徒がまとめやすくする。</p> <p>学校以外でよく行く場所をピックアップし、考えられる危険と対処法をワークシート4に記入する。</p> <p>〈例〉危険：エレベーターに乗っているときに地震が発生し閉じ込められる。 対処法①：全ての階のボタンを押して止まった階に出る。 対処法（発展）：非常用呼び出しボタンで外部に連絡する。</p> <p>学校以外で地震が発生した場合、避難誘導してくれる先生がいないこと、自分で判断しなければならない可能性が高いことに気づけるよう問いかける。</p> <p>〈例〉外出中に地震が起こったとき、避難誘導してくれる大人は必ず近くにいるかな？周りに誰もいなかったとき、避難の判断は誰がするのかなど。</p>
	<p>休日に地震が起こった場合、避難の判断やどこに避難するかなど、自分で考えなければならないことに気づく。</p>	
まとめ	<p>⑥今日の授業を振り返り、ワークシート5に本時のねらいと照らし合わせて学びのまとめを記入する。</p>	